

オリーブ（果樹類の登録農薬も使用できる）

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期（日数）	使用回数	炭疽病	梢枯病	ゆめ合促進	カイガラムシ類	カメムシ類	マエアカスカシノメイガ	ハマキムシ類	オリーブアナアキゾウムシ
I Cボルドー66DFL	M1		—	—	◎							
クプロシールドFL	M1		—	—	◎							
トップジンM水	1		30	2		◎						
トップジンMペースト	1		*b	3			◎					
アミスター10FL	11		30	2	◎							
セイビアーFL20	12		7	2	◎							
ペンコゼブ水	M3		90	2	◎							
バイオセーフ	—		*a	—								幼
スミチオン乳	1B		21	3								◎
アディオン水	3A		7	2				◎			◎	◎
アルバリン溶スタークル溶	4A		1	2				◎				
ダントツ溶	4A		1	2				◎		◎		◎
ベニカ溶	4A		1	2				◎		◎		◎
モスピラン顆溶	4A		7	1				◎				
モベントFL	23		7	2				◎				

*a: 幼虫発生期 *b: 剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後
幼: 幼虫

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生を見たら、初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 ペンコゼブ水和剤 600倍	
オリーブアナアキゾウムシ		・ 成虫は夜行性で、地際部の樹皮下に産卵することが多いので、成虫の捕殺や、地際に紙を巻くなどして産卵を防止する。	幼虫がイボタ、ネズミモチ、オリーブの材部を食害する。 成虫は春から秋まで活動する。